

# ハイデルベルク大学

## COE (The Cluster of Excellence) 「グローバルな文脈におけるアジアとヨーロッパ：文化の流れにみる非対称性の変遷」

Alexander Häntzschel・島津 万里子 (クラスター事務局)

この度、神奈川大学日本常民文化研究所付置非文字資料研究センターと、私共ハイデルベルク大学のCOE (The Cluster of Excellence) 「グローバルな文脈におけるアジアとヨーロッパ：文化の流れにみる非対称性の変遷」は、研究協力を推進することとなり、学術交流・提携事業に関する覚書を取り交しました。具体的には、シンポジウムへの研究者の招聘、若手研究者の短期交流の促進を計画しています。このうち、第一回目の短期交流として2010年に神奈川大学からの研究者を招聘いたします。その他にも、ニュースレター、研究成果報告書、及びその他刊行物の相互交換を行っていく予定です。

### 1. クラスターの概要

私共クラスターは、ドイツ政府が国内に世界最高水準の教育研究拠点を形成することを目的に実施する「Exzellenzinitiative (エクセレンス・イニシアチブ)」プログラムに採択され、2007年10月に発足したもので、ドイツ版のグローバルCOE拠点到相当します。

クラスターは4つの研究領域—統治と行政、公共領域、衛生と環境、歴史と文化遺産—に属する70以上の研究プロジェクトにより構成されており、現在200名の研究員がアジア・ヨーロッパ間における文化交流のプロセス—文化、社会、政治等関連諸分野における非対称性—に関する研究活動を行っています。

なお、奨学金の半数は、アジア各国からの優れた若手研究者に付与されています。

### 2. クラスターの教授陣

クラスターはインド学教授のアクセル・ミヒャエルス、中国学教授のルドルフ・ワグナー、並びに文化歴史学教授のマドレーヌ・ヘレンーオシュの3名の監督の下運営されています。

また、クラスターにはドイツ初となるグローバル美術史教授を始め、文化経済史、思想史、ビジュアル・メ

ディア人類学並びに、仏教学の分野で5名の専任教授が常任しており、学際的な研究環境の中、文化交流学の大学院プログラムの運営も行っています。

### 3. 今後の取り組み

更に、クラスターは、“Heidelberg Research Architecture” (HRA) と呼ばれる独自の研究用システムの開発を進めています。HRAは、複数の学問分野間の情報交換を促進するための新たな取り組みであり、現在20以上のプロジェクトにより構成されています。様々なデータベースを作成し、コンセプト、テーマ、文献、テキスト、画像や動画等を保存することで、研究者が場面に応じて情報の利用をすることが可能となっています。「多文化画像データベース」はその一例で、現在40,000画像が保存されており随時利用可能です。

その他にも、クラスターは、文章比較や言語資料の引用検索を可能とするツールの開発も進めています。

### 4. おわりに

今回の学術交流覚書の締結に伴い、両大学の交流が今後、更に緊密となり、より多くの学術情報が活発に交換できるようになることを大変期待しています。



クラスター施設 (ハイデルベルク大学 カール・ヤスバースセンター)